



立命館生協 ブックセンターふらっと

法律書 Ranking

2017.2.1～2.28



『裁判の非情と人情』

原田國男
(岩波書店 本体¥760)



『憲法改正とは何だろうか』

高見勝利
(岩波書店 本体¥820)



『民事訴訟法〔第5版〕』

伊藤 眞
(有斐閣 本体¥5200)

- 4位 『入門知的財産法』
平嶋竜太ほか(有斐閣 本体¥2600)
- 5位 『会社法〔第3版〕』
伊藤靖史ほか(有斐閣 本体¥2900)
- 6位 『注釈刑法(2)各論(1)』
西田典之ほか編(有斐閣 本体¥10000)
- 7位 『我妻・有泉コンメンタール民法 総則・物権・債権〔第4版〕』
我妻 榮ほか(日本評論社 本体¥7600)
- 8位 『金融法概説』
神田秀樹ほか編(有斐閣 本体¥2500)
- 9位 『行政法』
野呂 充ほか(有斐閣 本体¥2000)
- 10位 『AI時代の働き方と法』
大内伸哉(弘文堂 本体¥2000)

新書から
注釈書まで
幅広く。

篠原紀子

店長



・今月のランキング

1位の『裁判の非情と人情』。法律書とは言えないかもしれませんが、裁判官の悲喜こもごもが綴られて、法律が専門ではない人にもおすすめです。寅さんや藤沢修平が好きって、とっても親しみがわくんです。そして、前月、早稲田大生協の神谷さんご紹介されていた『AI時代の働き方と法』が10位にランクイン。私たちの働き方はどのように変わっていくのでしょうか。それに対応するために労働法はどう変わっていくのでしょうか。

・注目商品

『体系 憲法訴訟』(高橋和之著、岩波書店・4月刊行予定): 憲法訴訟をテーマにした待望の概説書です。「権力を統制し、権利保護を実現するためには緻密な手続論が不可欠との考えから、憲法訴訟論の体系化をめざして、これまでの膨大な裁判例と諸学説を詳細に検

討し、訴訟技術上の諸問題を解明する。著者の多年にわたる研究成果の結晶。」とのことで、注目しています。

・新人紹介

ふらっと待望の新入職員が配属になりました! 青谷行人です(上掲写真)。大学生協では書籍部門の人材不足が叫ばれる中、貴重な人事です。今は4月の教科書販売に向けて日々、検品品出し目録作成等々、奮闘しております。1年後には書籍全般、特に法律書は任せてください、と言えるよう頑張ります。

皆さま温かいご支援をよろしくお願いいたします。



次号の Bookstore's Voice は
東京大学生協 駒場書籍部